

あいあいあい

I eye 愛

2022 年

1 月号



Wa! わあ祭り 2021 グランドフィナーレにて

「やればできる」 あいコープ魂で 夢を現実

理事長 高橋 千佳

新春のお慶びを申し上げます。昨年あいコープは、「2025年ビジョン」に向かってスタートを切り、あいコープミートセンター建設という一歩を踏み出した年ともなりました。これは、ビジョンにも掲げた「あいコープ型畜産」と、社会福祉法人みんなの輪と共に進める「障がい者支援」の双方を実現するための重要な一歩です。組合員に届く産直肉を自らの手で加工するミートセンターでは、スタッフの障がいのあるなしに関わらず互いに手を取り合い、一つの目的に向かう喜びを感じながらお肉の加工に取り組んでいます。私たち組合員があいコープのお肉を頂くことは、間接的ではありますが、地域福祉推進の一役を担っているのです。あいコープの福祉活動の大きな柱は、みんなの輪との連携です。ビジョンにおける「人」そして「食」に関する組合員の夢の実現のために、社会福祉法人みんなの輪との協同はあいコープにしかできない重要な意味を持つと実感しています。

「やればできる。自分たちの手で作り上げる」というあいコープ魂は様々な活動の力になっています。新型コロナウイルスの出現で不可能と思われたWa! わあ祭りも、オンライン

ンを活用することで開催することが出来ました。「つながり・はぐくみ・ゆたかに・つたえる」という2025年ビジョンの合言葉をテーマにした昨年のお祭りは、人・食・環境・協同の力を表現する様々な企画に、生産者と組合員の互いに繋がりたいという気持ちや、組合員が生産者を応援したいという想いが重なり、素晴らしいお祭りとなりました。お忙しい中動画の提供にご協力頂きました生産者をはじめ、多くの皆様に感謝致します。

私たち人類の前に立ちはだかる、私たち自身が作り出した数々の問題。再稼働が迫る女川原発問題、コロナ禍でより浮き彫りになった格差・貧困問題、命の糧である水と食と農が脅かされる現状、地球温暖化が進む中で求められる気候正義、各地で紛争が絶えず人権が軽視される世界。これら様々な問題を自分事として受け止め、一人ひとりが起こすアクションはささやかでも、それを協同の力で束ねればより強大なエネルギーになります。未来の子どもたちの為にも、2025年ビジョンを道標に、社会を変える力を発揮していきましょう。

CONTENTS

▶ Wa! わあ祭り 2021 総括特集

秋のフォーラム企画報告 …2-3

▶ 生産者から新年のご挨拶

▶ 今年こそ地区委員になって楽しもう!

…4-5

…6

▶ バイオマス発電所問題学習会報告

▶ 水産を知らう! ジョブチューン開催

…7

…8

10/30

Opening Ceremony

オープニングセレモニー

Wa!わぁ祭り2021

約一か月にわたる Wa! わぁ祭り 2021 の開始を祝うセレモニーは、稼働を始めたばかりの「あいコープミートセンター」前から youtube で生配信。「はさまのカップ」に扮した生産者、菅原達徳さん(はさま自然村)と、あいコープみやぎ藤田紀子理事がメイン MC となり、高橋千佳理事長や細谷滋紀共生会会長と共に祭りの見どころを紹介しました。しおさい地区委員さんの力作フリップによる「フリップ芸」も鮮やかに、オープニングを飾るにふさわしい楽しい動画配信となりました。



撮影・配信の準備、着々と！



フリップをめくり軽快に進むトーク



日向でくつろぐカップ

／日陰は寒いな／

わ・は・わの苺ジャムを味わおう♪

(青葉B地区)

たった3つの原材料で出来たシンプルな苺ジャムの、美味しさや安心の理由をお伝えしました。

◆イチゴの生産者とジャムの生産者と、同時にお話聞けるなんて、なかなかない機会!地区委員さんも美味しい食べ方のデモンストレーションや見学の感想などきちんとフォーラムに関わっていて、素晴らしい地区活動だと思いました。



◆いちごのおいしさの理由がわかりました。ジャムの利用法や生産農家や瓶詰めジャム工場の工程、苦勞など知ることができました。

趙さんの味・焼肉のたれが手放せなくなる! たれのヒミツとめっちゃうまレシピ

(泉A地区)

津波被害に負けず工場再建された「趙さんの味」李さんと共に、商品のヒミツや美味しい食べ方をお届けしました。



- ◆画面越しではあっても生産者の方が話されるのを聞くことができてとても良かったです。
- ◆料理レシピがとても参考になりました。私にでもできそうなので鶏手羽元を注文することにしました。あるものでできるものはすぐ作ってみようと思いました。
- ◆趙さんの焼肉のタレのあの一本に壮大なストーリーがある事が知れましたし、本当に安心して安全な商品を目指す李さんの情熱に心を打たれました。

秋のフォーラム

(あいコープ商品学習会)

参加者の声を紹介します!

毎年秋に各地区委員会主催で行われる「秋のフォーラム」も、今年は祭りの一環として開催しました。

今回はプライベートブランド「あいシテル」商品を取り揃え、それぞれの生産者に商品づくりのお話を聞きました。オンラインでの開催だったため、理事や委員が事前に工場見学し撮影した動画を見ながらお話いただくというスタイルも多く、普段は実際に見学に行きづらい組合員も工場を見る機会になり、どの企画も好評でした。

参加者の感想から、いくつかをご紹介します。

いつもの食材でレベルアップ! あいコープの皮でももちもち美味しい餃子作り

(宮城野/若林地区)

皮の良さを伝えし、おうちのギョウザがもっと美味しくなるレシピや、皮を使ったおすすめのおかずをご紹介します。

◆餃子の皮の製造工程や原材料、こだわりなど、自分や家族が食べるものを詳しく知れてとても良いことだと思いました。おいしい餃子の皮の作り方も聞けて、自己流を終わらせられそうです。



- ◆生産者のこだわりが分かった。アレンジが色々できそう。
- ◆アレンジレシピをまねたいと思いました。生産者さんのこだわりも見えたので安心して使いたくなりました。

Wa!わぁ祭り 2021 地区の企画 盛りだくさんでした

教えて！

タンポポ村ギョウザ&シュウマイの秘密

(仙南/しおさい地区)

タンポポ村のギョウザ、シュウマイがどうして美味しいのか、そのわけをタンポポ村に聞きました。

◆クイズもあり、楽しいフォーラムでした。生産者さんと私達の距離の近さを感じ、とても温かい気持ちになりました。

◆これまで利用したことがありませんでしたが、今日の話聞いてたくさんこのだわりを知ることができたので、ぜひ利用したいと思います。

◆動画で工場の作業過程が見られ、より手作りにこだわっている様子が伝わってきました。



昔ながらの味わいを大切に手揚げを作る 「菅野食品」さんとオンライン生産者交流

(青葉 A 地区)

菅野食品の担当者に解説してもらいながら手揚げを作る様子をご紹介します。美味しい食べ方もお伝えしました。

◆菅野食品さんの話がしっかり聞けてよかった。質疑応答に丁寧に答えていただけたのも、すごくありがたかったです。知りたいことがきちんと聞けたので満足です。

◆どんな風に作っているのか、こだわりは何かを知りたくて申し込みました。深夜から私たちのために一生懸命作っている菅野さんに感動しました。



米こうじ味噌で免疫力 UP! お味噌活用ココが味噌♪

(泉 B 地区)

味噌玉やご馳走味噌汁の作り方、味噌おにぎりの作り方をオンラインでご紹介しました。

◆一人分の味噌玉は昼飯に便利ですね！昔から現在まで大切に受け繋がれて体調を整え毎日楽しく健康に過ごす食品の味噌、1日に一回は食したいと思います。玉ねぎ味噌もガラス瓶に保存して飲んで行きたいです。

◆アットホームな感じで楽しく参加させていただきました。実は鎌田さんの米こうじみそは利用したことがなかったのですが、これを機会に利用していきたいと思いました。



もっと教えて！

タンポポ村ハム&ウインナーの秘密

(石巻/太白地区)

子どもたちが大好きなハムやウインナーを無添加で作り続けるわけを、タンポポ村に聞きました。

◆扱う豚さんの質が良く、添加物がないこともわかり、他社製品と全く違い安心安全だと良くわかったから、早速ウインナーとハムを注文しました。

◆作る現場を、家にいながら見学でき、良い商品をリーズナブルに食べられる私たちは幸せだなと思えました。



11/28 Grand Finale グランドフィナーレ

「毎日がお祭り」だった Wa! わぁ祭り2021 の締めくくりはミートセンター2階のキッチンスタジオから生配信。おしゃれなキッチンスタジオに初めて足を踏み入れたパスちゃんも感動していました。

フィナーレでは、お祭り期間中に公開されていた生産者の動画に贈られる「ムービーアカデミー賞」の表彰式が行われ、組合員お手製のオスカ一像ならぬ「パスカー像」が贈呈されました。

また、豪華賞品が当たるじゃんけん大会、大抽選会が行われ、画面越しに白熱した戦いは盛り



上がりっぱなし！賞品ゲットの皆さん、おめでとうございます。2022 年も良い年になりそうですね！

多くの方のご協力で Wa! わぁ祭り 2021 は幕を下ろしました。「会えない」「集まらない」中、知恵を絞り団結して行われた、素敵なお祭りでした。



手作りパスカー像

生産者から 新年のご挨拶



あけましておめでと
うございます。
今年もあいコープは
組合員・職員・生産者が
手を携え、よりよい未来
をめざしてアクション
を起こしていきます。
新年のスタートにあ
たり、昨年のWa！わあ
祭りでも大活躍した生
産者の皆さんを代表し、
4名の方に新年の抱負
を語って頂きました！



あいコープ共生会会長
七郷クロバースファーム
細谷 滋紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます。いよいよ
新年、令和4年が始まります。

昨年も一昨年同様、コロナに振り回された
一年でしたね。年末に向けて感染者数が落ち
着いたものの、新たな変異株が出現し、我々は
また見えないものに向き合いながら、生活しな
ければなりません。皆様も本当に不安でいっ
ぱいだと思います。

そんな中でもあいコープは、生協の最大の魅
力である「交流」の柱「Wa！わあ祭り」を、オン
ラインという形で開催し、不安な気持ちを和
らげてくれました。生産者の一人として、本当
に嬉しかったです。とても楽しかったです。特に初
めの試みとして臨んだ「ジョブチューン」では
あまりにも楽しく、リラックスし過ぎて余計な
事喋り過ぎました笑。今回の内容で新たな
交流の形を築いていけるのではと期待していま
す。それでも本音では、組合員の皆様と「対
面」での交流を願っております。

今年も生産者たちが皆様に、昨年以上の笑
顔をお届けできる一年になりますように…。
皆様、本年もどうぞよろしくお願い致しま
す。



2021年 七郷「トライ田んぼ」稲刈りの様子
今年はどんな生産者交流ができるかな？
お楽しみに！！



あいあいファーム わ・は・わた原
大内 芳裕

あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりました。Wa！
わあ祭りも楽しく参加させて頂き、組
合員の皆様の熱い思いを強く感じる、
良い機会となりました。

さて、毎年冬を迎えると、初めての
わ・は・わた原での冬、とても不安だ
った事を思い出します。氷点下5℃
10℃の気温の中、豚は大丈夫かなと恐
る恐る豚舎の扉を開けたものでした。
その不安と裏腹に豚舎内では元気に
走り回っている豚たち。私たちが取り
組んでいるバイオベットの発酵の熱
で、豚舎内は温かく保たれていたのだ
です。

夏の暑い時期や冬の寒い時期は「こ
の豚達は厳しい季節しか知らないま
ま出荷されるのか？」と思うことがあ
ります。



秋保ゆきの会
渡辺 重貴

11年前、秋保の同じ集落で6軒まで
増えた新規の有機農家は、売り先も少
なく、近隣の直売所に野菜を出して
は、お互いにバツティングして種類や
値段で揉めたりして、ギスギスした関
係でした。そんな時に出会ったのが
「あいコープみやぎ」でした。生協か
らの沢山の注文を受ける為に、共同出
荷組合「秋保ゆきの会」を作って出
荷する事になりました。欠品を少な
く、組合員さんに満足してもらえるよ
うに、一致団結して有機農業に取り組
みました。

初めは収穫量や品質が安定せず、問
題もありました。しかし問題解決の為
に会議をしたり、お互いの畑を回って
アドバイスし合ったりして、徐々にレ
ベルアップしていきました。その結



株式会社間宮商店
間宮 徳昭

2021年は感染症や温暖化・乱獲
などの様々などでも振り回され
た一年となりました。

特に温暖化・乱獲は深刻で漁獲が
年々減少しており、製品づくりには良
い素材の入手が最も重要な要素とし
ていますが、看板商品のサンマと言え
ば創業55年の中で最も深刻な状況に
直面しています。サンマに限らず、今
まで当たり前できていたことや手に
入ったものがなくなったり、減少して
いる場面がいくつも出てきています。
しかし、変化があるからこそ新しい
素材や製法に気付かされたりと出会
いがあるのも面白く、新たな魚の魅力



豚舎で働く大内さん
ふかふかのバイオベッドに
豚たちが転げまわる

ります。せめて暑さ・寒さによるスト
レスをできる限り軽減して肥育した
いと強く感じるものです。現在は寒さ
対策の為、バイオベットに改良を加え
発酵に有用なみ殻・菌床おが粉・鶏
糞・牛糞を配合し発酵・発熱を促す堆
肥の製造を心がけております。

あいコープみやぎからあいあいフ
アームの経営委託を受けて今年で4
年目を迎えます。利用者さん達もレベ
ルアップし、ここで養豚業を行う上で
欠かせない存在になりました。これま
で右往左往しながらも頑張ってきた
利用者さん達の工賃向上が図れるよ
う、アニマルウェルフェアに基づいた
より良い肥育を実践してまいります。
今年もよろしくお願い致します。



収穫を喜ぶ渡辺さん
組合員活動でも
多くの組合員のハートを掴む！

果、以前はギスギスしていた関係が、
いつの間にか切磋琢磨するチームワ
ークばつちりの「仲間」になっていま
した。時々猿やイノシシの被害に遭う
こともありましたが、仲間がいるので笑
い飛ばす事も出来るのです。

時には「変わった人」扱いされる小
さい有機農家がこんなに生き生きと
農業が出来るようになったのも、あい
コープみやぎの皆さんのおかげだと思
っています。本当に感謝しています。
美味しくて安心な野菜作りをモッ
トに、今年も精進してまいりますの
で、皆さん宜しくお願いします！



仕事場での間宮社長
あいコープでおなじみの
商品のレベルアップに挑戦中！

を再発見していますので、2022年
には間宮商店らしさを残していきな
がら、新しい商品の開発や既存の商品
のグレードアップに挑戦したいです。
また、環境変化への対応だけではなく、
未来のために今ある資源や環境の
保全にも、微力ですがチャレンジして
いきたいと考えています。
本年も、皆さまの食卓に良いものを
お届けしていきますので、どうぞよろ
しくお願いいたします。

日の出さんさん発電所2号機 2022年から稼働

あいコープみやぎ日の出町センターに発電所があるのをご存知ですか？
これは「みやぎ地域エネルギー合同会社」（みやエネ）と協同での取り組み
です。屋上で作られた電気をすべて食品の冷蔵などに利用する自家消費型
の発電所で、開設から3年が経ちます。

この「日の出さんさん発電所」の2号機が、センター敷地内に新築され
たあいコープミートセンターの屋上で稼働し始めます。もちろん電力は、
ミートセンターで直接利用する自家消費型です。売電するのではなく、作
られた電気をその場で使う、実にシンプルな「でんきの地産地消」に、ま
すます力を注ぎます。どうぞご注目ください！



あいコープには
発電所があるのです！

大崎住民訴訟 排ガス測定支援カンパに協力

村井宮城県知事による自治体への呼びかけで始まった「8000ベクレル/kg
以下の放射能汚染廃棄物の一斉焼却」。大崎市において、福島原発事故により
発生した稲わらなどの放射能汚染ごみと一般ごみの「混焼試験」が開始され、
周辺地域への放射能拡散が心配されています。内部被ばくの不安を抱えての
生活を強いられる地元住民ら124名が起こした住民訴訟で、放射能を含む排
ガスの測定をするため多額の費用が必要に。原告団、弁護団、大崎住民訴訟
を支援する会により緊急カンパの募集が行われ、あいコープみやぎや多くの
団体・個人が協力しました。11月11日をもって会の目標額を超える303万
円が集まり、裁判所の求める排ガス測定を実施できることになりました。



10月16日 河北新報が
測定の開始を報じた



ことしこそ「地区委員」になってあいコープを楽しもう！

地区委員さんにインタビュー♪

年が明け、間もなく恒例の「組合員交流会」がやってきます。各地区委員会が、楽しくて学べる企画を用意して組合員同士の交流の場を作ります。今年こそ、地区活動を始めてみませんか？

今回は新春特別企画として、地区委員活動を楽しんでいる石井朱里さん(青葉B)にお話を聞きました。

石井さん(以下「石」) 3年前の組合員交流会でお誘いを受けて青葉B地区に入りました。当時次女を出産して家にいることが多かったですが、託児してもらってあいコープのものを調理したり試食したり、活動は魅力的でした。

編集部(以下「編」) 確かに！そういう委員さんは多いですね。大人同士の時間が嬉しいって。

石 元々自然や動物が好きで、環境を守る活動に興味がないわけではなかったんで、主婦でありつつもあいコープで活動すれば社会に関われるっていう喜びもありました。

編 石井さんは仙台に来る前も生協で活動していたとか。

石 はい。北海道でも生協の委員をしていました。でも楽しみがわかってきたころに引越すことになったちゃって。仙台に来て信頼できる生協を探していて、フリーペーパーの広告であいコープを知りました。

編 あいコープでの活動で印象的だったことは？

石 色々あるけど、水産の未来を考える魚食プロジェクトの会に参加したことですね。参加した委員さんと「魚でチキンナゲットみたいな商品ができたらいいな」って言ったら、それが少しずつ形になって、「パクパクなぎよ」という商品になったこと。組合員が商品づくりに参加したって実感がありました。

編 でもこの2年間はコロナのせいで十分楽しめてないのでは？

石 そうですね。リモートでは色々やるけど、やっぱり顔を合わせ、おしゃべりとかしたいです。安全安心な食品や子育ての話を委員会の中でして、組合員同士新たな発見があったり、知らなかったことを教えてもらったり、活動は楽しいですよ。ぜひ多くの組合員さんに交流会に参加して委員会の雰囲気を知ってほしいです！



地区委員になって約3年の石井朱里さん

ええのうえんのう

仙台えんのう倶楽部の情報を毎月お届けするこのコーナー
新春は、えんのう倶楽部代表の小野瀬裕義さんの登場です

11月末にクローバースファーム(七郷)で「ネギや」といを行いました。聞き慣れない言葉ですね。ネギは真っ直ぐに伸びますので「曲がりネギ」は珍品種？違います。

大きく真っ直ぐに伸びたネギを抜いて20度位に寝せて土を被せます。ネギは起き上がりとうと曲がり、そのため甘く柔らかくなります。昔、岩切地区で畑の水位が高かったため、根腐れを防ぐ工夫から生まれた栽培方法とのこと。現在では人手がかかるので敬遠されて少数に。こういう人手がかかる作業をみんなで一緒にいうと農家は大好きですね。組合員も美味しい貴重なものが食べられます。

えんのう倶楽部はあいコープとタイアップして産地応援に取り組んでいます。農業は忙しい時には人手が必要になります。その時のちょっとしたお手伝いでも喜ばれます。半日の参加でもかまいません。産地に行くことと生産者のこと、畑や野菜のことがよく分かりますよ。皆さんも参加しませんか。



仙台えんのう倶楽部に関するお問い合わせ
0120-255-044 豊嶋まで

理事会議事録抄

2021年12月7日(火)

▼12月以降の組合員活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策およびジョイケアによる屋内ケアの一部再開について決定した▼第34回通常総代会日程及び場所、開催方法について決定した▼GMナタネ自生調査2022企画を承認した▼3・11キャンドルナイト企画を承認した▼全体区分推薦委員を決定した▼2022年度シャボン玉月間キャッチコピー・ポスター原画募集要項を承認した▼布おむつ談義企画を承認した▼「産地応援委託」のあり方について協議した。

組織概要

(2021年11月分)

【組合員数】	14,668名
【供給高】	250,431千円
【一人実利用高】	5,549円/週
【出資金】	1,270,577千円

ちよっ
とこ
ひとこ

①簡単にできると思っていたんですが、なかなか難しくまんま通信を何度も見返しました。
②ススイ解けてあっ、あいコープにはまっていることを実感しました笑 (Wa! おあ祭りクロスワードパズル感想)

バイオマス発電って

本当に環境に優しいの？

「バイオマス発電って再生可能エネルギーっていうけど、問題もあるらしいよ」という脱原発エネシフ委員会での話題が発端となり、学習会が行われました。環境NGO「FOE（エフオーイー）ジャパン」理事の満田夏花さんを講師に迎え、バイオマス発電の基本から詳しくお話していただきました。



講師の
みつたかな
満田夏花さん

そもそもバイオマス発電が再生エネとされているのは、原料となる生物由来資源（木などの植物）は生育する間CO₂を吸収するので、燃やすときにCO₂を出してもプラマイゼロという理屈です。しかし現状は、大規模発電の原料として熱帯雨林や森林を根こそぎ伐採するような環境破壊が行われており、更に

輸送時にもCO₂が排出され、矛盾が指摘されています。日本への輸入量も、ここ8年間で木質ペレット28倍、パーム椰子殻は85倍に増えていきます。日本ではバイオマス発電が固定価格買取制度の対象になっているため、儲け最優先の企業による参入が後を絶たない状況です。

但しすべてのバイオマス発電が悪いものではありません。地元の廃材などを利用したものであれば地域の雇用やエネルギーの地産地消を生み、地域の大事な資源となります。

宮城でも仙台港、石巻、登米などで大規模バイオマス発電所が計画、着工されています。これらが果たして私たちの望む「再エネ」と言えるものなのか、慎重に判断することが必要です。

理事 櫻井洋子



私のオススメ商品



今年度リニューアルされた「あいこーぷの豚肉で作った肉まん」をもう召し上がりましたか。組合員の皆さんからの声を受け、1個当たりの大きさをボリュームアップ！そして遺伝子組み換え原料やショートニングを排除。勿論これまで同様「産直肉100%使用」し、餡を包む生地

も「国産小麦100%使用」。組合員の皆さんからも「食べ応えがあつて嬉しい」の声も頂き、前年度より1.7倍もご利用頂いております。1月1回まんま通信裏面でも「がんばれ受験生」と題し、特別価格で掲載しご好評をいただきました。是非1度ご賞味ください。
商品部 播磨賢次

編集後記

あいあいあいの編集に本格的に携わって丸4年。人に伝えようとすることは己が学ぶことだと感じながらの毎月の編集です。表現に頭を抱えることもありますが、取材に応じてくれる生産者さん、編集に協力してくれる職員さん、励ましの手紙をくれる組合員さん、ありがとうございます。「毎月大変ね」と言っても頂きますが、どっこい実はとっても楽しいんですよ！生産者がこだわりの商品を作るように、私も紙面にこだわります。本年も機関紙あいあいあいをよろしくお祈りします。

理事 鈴木真奈美

●機関紙あいあいあいへのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、
配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、
あいこーぷみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいこーぷみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2021年11月分)

ささえあい(保障)	2件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	5件	利用延べ人数	0名
集団託児	0件	◆ケア時間	
慶弔・出産	12件		7.5時間
電話相談窓口	12件	*Covid-19の為、活動を	
計	31件	制限しています。	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ

0120-50-7277 平日 9:00~15:00

年金相談・2/8(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・2/8(火)、2/16(水) 弁護士 倉林干枝子氏

13:30~15:30

傾聴・2/8(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏

10:00~12:00

子ども相談・2/15(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

介護相談(ケアプランセンター-山崎彰子氏) は相談希望日をうかがいます。

▼各相談窓口前週の日曜日まで予約して下さい。随時受け付け可能です。
▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●自分達でまいた小豆の種から沢山の小豆が収穫できました。農家の方々に感謝しながらおいしく頂きたいと思います。そして種も大切にしようと思います。(たねまきプロジェクト参加者アンケート)

3回連載企画! あいこふ ジョブチューン in 「Wa!わぁ祭り2021」 第2回 水産編

あいこふジョブチューンは・・・生産者の人柄やお仕事の中身を知り、日ごろ食べている「美味しいアレ」の作り手さんをもっと知ろう!好きになろう!と企画されたバラエティ企画。3回にわたり開催され、延べ119名が申し込んだ



丸壽阿部商店
阿部寿一さん



塩屋
石原博さん



高橋徳治商店
高橋敏容さん



マルトク丹野商店
丹野徳雄さん



間宮商店
間宮徳昭さん



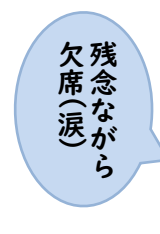
無茶々園
西田卓郎さん



祇園丸
佐藤哲三郎さん



渡辺商会
渡辺裕多さん



残念ながら
欠席(涙)



丸友しまか
島香友一さん

ジョブチューンの中では最多の9生産者に登場していただいた水産編。オンラインの強みを生かして、北は岩手の宮古、南は愛媛からと列島縦断!...の予定でしたが、残念ながら宮古の丸友しまかさんが欠席に。次回はなんとしても登場頂きたいですね。

まず初めに生産者紹介から。カキの阿部さんは「毎日がワーケーション」の素晴らしい環境でお仕事できる事が自慢。ねりものの「マルト」こと高橋さんは震災がきっかけで東京から石巻に U ターンしました。鮭・銀たらの丹野さんは手切りの魔術師!?という事なのか知りたい方は「Wa!わぁ祭り・おかわりっ」での再配信をお楽しみに。干物の間宮さんのご趣味はプラモデル。見事な出来のガンダムに思わず「何ガンダムですか?」と高橋さんが反応! 今度お話ししよう、と親密度がアップしていました。ちりめんじゃこの無茶々園・西田さんとちりめん漁師・佐藤さんは二人並んでの参加です。佐藤さんは30代半ばからぬれぬのお名前。漁師のお祖父様・お父様のお名前からの命名で「生まれる前から決まっていた」そうです。期待通り漁師さんになられて何よりです! 生冷ホタテなどを扱う渡辺さんは前職がスノボのインストラクター。あさり・しじみの石原さんはトラブル発生で遅れて登場。長いお付き合いの丹野さんから「石原さん、どうも!」と声が掛かります。バラエティ豊かなメンバーで参加者から寄せられた質問に答えて頂きました。

最初の質問は「なぜあいこふのお魚は美味しいのですか?」で

した。お一人ずつ美味しさの理由やこだわりのポイントを聞いていきます。ここで皆さんが口々にいうのは**原料の大切さ**。一方で、丹野さんから原料の確保が難しくなっているという**切実な訴え**もありました。間宮さんは「原料が確保できず、毎日加工できないと**技術の伝達にも支障が出る**」と言います。原料不足は、消費者の想像以上に大きな影響を与えているようでした。

原料不足の原因のひとつである**海の環境変化の影響**についての質問がありました。これまでは茨城が北限と言われていた**伊勢海老**が三陸で獲れる事があるそうです。カマス・太刀魚のような温かい海で獲れる魚も三陸に大きなものが揚がる等、魚種の交代は待ったなしの状況です。こういう困難な状況を踏まえ、**養殖ものをどう考えるか**という重要な投げかけがありました。渡辺さんから「現状の養殖は餌の情報がほぼ開示されない問題点があるが、イメージだけで養殖を避けるのではなく、**丁寧に魚を育てる**という考え方もあるのではないか」と言われ、参加者から安全な養殖魚なら良いと思うというコメントも寄せられました。

原発事故・ALPS 処理水放出については震災当時の客離れ、商品供給の困難や復興支援が途絶えた後の苦しさがあった事が語られました。生産者からも「**正しいデータ、情報が必要**」「**放出してほしくない**」等、様々な声が上がりました。今後も継続的に深めていくべきテーマが見つかったこの機会を生かしていきます。

Calendar

今後のイベント

Wa!わぁ祭り2021

おかわりっ

約一ヶ月にわたり開催された Wa! わぁ祭り 2021。オンラインで開催された各企画を、再放送のようにお届けする「Wa! わぁ祭り おかわりっ」が開催されます。お申込み頂いた方に URL をお届けし、いつでもご自分のタイミングでご覧いただける予定です。

詳しくは 1 月発行予定のニュースにて。要チェック★

地区委員さん募集中!

一定例会見学も受付中ー

地区委員会は

楽しい!おいしい!学べる!!

あいこふの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先

☎ 0120-255-044

Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop

(担当:組織運営室長 豊嶋)

